

「2017年豊岡市産業連関表」の概要

豊岡市の産業構造を明らかにするための「産業連関表」を、2017年を基準年次として作成した(2019年度事業。2016年経済センサス活動調査、2017年度兵庫県市町民経済計算統計等を使用)。

得られた連関表により一定の分析を行ったので、その概要を公表する。

産業連関表とは？

域内・域際における財やサービスの年間の取引状況を、産業ごとに一覧できる統計表。感覚や経験で捉えがちな経済の実態を明確にし、地域の特性を把握する。

全国と都道府県では概ね5年ごとに作成されているが、基礎自治体での作成はまだ少数。

[主な統計内容]

- 1 各産業部門(農業、建設業、宿泊業など)間で、財・サービスがいくら取引(生産⇔販売)されたかの相関関係
- 2 各産業部門が生産した財・サービスの原価、賃金、営業余剰、販売金額
- 3 各産業部門が地域外に販売した金額、地域外から購入した金額

1 作成の目的

- ・ これまで、2011年を基準年次とした連関表を保有・活用してきた。この表は、国や県の統計を引用し、域内人口や事業所数、従業員数等で本市に割り戻して推計する「按分法」によって得られたものである。
- ・ また、同様の推計手法を用いた経済産業省の「地域経済分析システム(RESAS)」^{リーサス}によっても、市の産業構造の大まかな姿は確認することができる。
- ・ 今回の取組みは、豊岡市経済成長戦略(2010～2019年度)が最終年度を迎える中、実地調査を基本とした「サーベイ法」と呼ばれる手法で産業構造のさらに精緻な姿を明らかにし、今後10年の経済施策に生かすもの。

2 概要の公表

- ・ 連関表そのものは、あくまで数字を羅列した「表」であり、そこから得られる様々な分析こそが本来求めるものである。
- ・ 2020年度に入り、連関表をもとに内部で一定の分析を行い、概観を得たため公表する。

3 連関表作成の詳細

(1) 調査状況(期間:2019年8月～11月)

区分	件数〔件〕	売上額〔億円〕
市内全事業所	5,317	4,675
調査票送付	1,426 (26.8%)	3,829 (81.9%)
得られた回答	調査票返信 294 (5.5%)	補強調査*を含む 2,302 (49.2%)

今回のサーベイ法による連関表作成では、総売上の35～40%の回答を目標とした。

※ 調査票の回収に加え、大規模事業者・業界団体などの重要な対象者に対しては、訪問や電話による補強調査を行った。

(2) 調査項目

売上・仕入状況、従業者数、人件費、減価償却費、直近の設備投資状況など

(3) 調査の補足

未回答や調査票送付対象外の事業所についても、2016年経済センサスの個票データを取得のうえ、売上や従業員数などの基礎状況を把握した。

(4) 作成方法

ア 実施主体

豊岡市

イ 業務委託先

豊岡市産業連関表作成・活用協議会

構成員	所属等
中村良平(会長)	国立大学法人岡山大学大学院社会文化科学研究科(経済学系) 特任教授
芦谷恒憲	兵庫県企画県民部ビジョン局統計課参事・ビジョン課参事、兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 特任教授
一井暁子	一般社団法人つながる地域づくり研究所 代表理事

【協議会事務局】一般社団法人つながる地域づくり研究所

ウ 委託期間

2019年8月1日～2020年3月31日

エ 委託費用

8,793,015円

4 分析結果の概要

別紙「概要資料」のとおり

〔問合せ〕豊岡市環境経済部環境経済課経済政策係 Tel.0796(23)4480